

# 株式会社坂ノ途中の被災農家さん支援事業 ハローファームプロジェクト



—これからの日本の食と農、そして環境のために—

## 野菜提案企業 株式会社 坂ノ途中とは

- 100年先もつづく農業の普及をめざして
- 「野菜提案企業」の役割
- 「野菜提案事業」の展開
  - 坂ノ途中⇔農家さん～関西におけるネットワークづくり
  - 坂ノ途中⇔お客さま～生産の現場を知ってもらうために

## ハローファームプロジェクトとは

- ハローファームプロジェクトのしくみ
- 坂ノ途中ができること、坂ノ途中だからできること
  - 「選択肢をつくる」取り組み
  - 支援事業からビジネスパートナーへ
  - 坂ノ途中のネットワーク全体で
  - モデルケースづくりとノウハウの発信

## さまざまな活動との連携

- 自分たちの手で、もう一度きれいな土を～生木葉ファーム（福島県いわき市）
- 安心・安全な「福島産」を発信したい～ふくしま希望市場（福島県岩瀬郡鏡石町）

## 移転の拠点・ハローファームハウス（仮称）設立

- 具体的な拠点の必要性から
- 地域とのつながりを大切にしてゆくために

## 地域域間連携の実現

- 漂流岡山の取り組み



野菜提案企業  
株式会社 坂ノ途中

〒601-8437

京都市南区西九条比永城町 118-2

web: <http://www.on-the-slope.com/>

TEL: 075-200-9773

FAX: 075-200-9774

# 野菜提案企業 株式会社 坂ノ途中とは

## 100年先もつづく農業の普及をめざして

「未来からの前借り、やめませんか？」これがわたしたちのメッセージです。農薬・化学肥料をどんどん投入し、土をやせさせていく一方の現在の農業のやり方では、今の収穫量が増えるのを代償に、100年後の豊作は期待できないのではないのでしょうか？

わたしたちはこうした現状を「未来からの前借り」と捉えています。これをやめ、100年後の農業を守るためには、農薬・化学肥料に頼らず、土づくりを主体とした農業を展開できる担い手が増えなければなりません。



▲坂ノ途中ウェブサイト <http://www.on-the-slope.com/> トップページ

## 「野菜提案企業」の役割

近年、無農薬・無化学肥料栽培に取り組む若手農家・新規就農者が増えつつありますが、彼ら／彼女らは非常に厳しい戦いを強いられています。ただでさえ手間がかかり、労力の大きい無農薬・無化学肥料栽培なのに、せっかく作っても適正な価格で売れない、情報交換できる仲間がない…

坂ノ途中は、こうした若手農家・新規就農者の抱える困難を解決し、あとに続く人たちを増やすことを使命のひとつとしています。彼ら／彼女らとともに挑戦し、坂道を登っていくパートナーでありたい。そんな思いから、「坂ノ途中」という風変わりな社名をつけました。

## 「野菜提案事業」の展開

こうした使命を達成するためのさまざまな取り組みを、わたしたちは「野菜提案事業」と名付けました。わたしたちの発想で、畑を、野菜を、楽しめるようにする。新しい野菜と人との関わりを生み出していく——そんな事業を展開しています。



## 坂ノ途中⇔農家さん——関西における農家さんのネットワークづくり

坂ノ途中は、提携の農家さんとシーズンごとに「なにを、どのくらいつくる？」という相談を直接させていただいています。農家さんごとに異なる品目を「分担」してもらったり、地域ごとに栽培時期や収穫のタイミングをずらして、シーズン中にその野菜を途切れることなく供給できるようにしたり。

また、生産者会議を開いて農家さんどうしが情報交換できる場を設ける取り組みもしています。そうすることで、野菜を過不足なく適切に流通させ、農家さんたちを収入面でも支えることができるのです。



▲坂ノ途中の提携農家さんたち

## 坂ノ途中⇔お客さま——生産の現場を知ってもらうために

そうして生まれたお野菜を、おいしくて安全な食べものを求めるお客さまのもとに届けることが坂ノ途中のもうひとつの大切な役割です。天候不順や害虫・害獣、そして病気や雑草という無農薬・無化学肥料栽培特有の「現場の悩み」をお伝えしつつ、なによりもそのおいしさによってお客さまに選んでいただけるよう、魅力の発信に努めています。



▲直営店舗 坂ノ途中 soil



▲街角での野菜市



▲ネット通販ショップ

# ハローファームプロジェクトとは

## ハローファームプロジェクトのしくみ

ハローファームプロジェクトは、被災されてこれまでの土地で農業を続けられなくなった農家さんと新天地、すなわち新しい田畑や人とのつながりを「つなぐ」ための“マッチング事業”です。



ひとくちに「被災された農家さん」と言っても、その立場や気持ちはさまざま。被災地と関西を往来し、現地の復興に携わりながら農業を続けたい方、完全に関西への移住を希望される方…。また、受け入れ側の条件も、受け入れる形式や受け入れられる期間等、同じように多様で複雑です。

たとえ提供される農地がどこかにあったとしても、ただでさえ生活の立て直しの見通しが立たない農家さんにとって、その情報を集め、相手方と連絡を取り合って条件を調整すること、さらにうまくめぐり合えなかった際にそれを繰り返すことは大きな負担になると予想されます。そうした農家さんの負担を極力軽減し、よりよい新天地にめぐりあって農業を続けていただくため、ハローファームプロジェクトはこれら二者の間をつなぎます。

## 坂ノ途中ができること、坂ノ途中だからできること

### ●●●●●「選択肢をつくる」取り組み●●●●●

甚大な被害や土壌の汚染を目の当たりにして、また、安心・安全なものをつくり続けられるのかという不安から、農業を続けることを諦めてしまわれる方もいらっしゃる現状は、100年先の農業のことを考えれば危機的なものです。坂ノ途中、そしてハローファームプロジェクトが提供したいのは、「新しい土地で農業を続ける」という、「ひとつの選択肢」です。

### ●●●●●支援される被災者から、ビジネスパートナーへ●●●●●



▲提携農家さんの畑にて。右が代表・小野

坂ノ途中は、環境への負荷が小さい農業の担い手を常に求めています。被災された農家さんたちは、たとえ関西に来られた当初は「被災者」であり、支援を受ける弱い立場であったとしても、力を蓄え自立していくにしたがって、坂ノ途中の対等なビジネスパートナーになっていく可能性がひらけています。辛い思いをされた農家さんが新天地でしっかりした基盤を築き、新たにめぐりあった土地から生み出してくれるおいしいお野菜たちを、坂ノ途中が味と安全への自信を持ってお客さまにお届けする——そんな日を夢見て、プロジェクトは進んでいます。

### ●●●●●坂ノ途中のネットワーク全体で●●●●●

農家さんを関西にお呼びするというアイデアの発端は、実は提携農家さんのひとつ——「畑が使えんで困ってはんねやったら、ウチんどこ来てくれはったらええのに！」。プロジェクト始動後も、提携農家さんたちからは「ウチ見に来たらええで！」と、おおいに歓迎いただいています。

また、同じ京都の山田製油さんは、栄養たっぷりの有機肥料となる「ごま油の絞りかす」を、移転してこられた農家さんに無償でご提供くださいます！



▲ 8月に行われた、移転希望の農家さんと坂ノ途中の提携農家さんとの交流会

## モデルケースづくり、ノウハウの発信へ

坂ノ途中は、関西に根を張るちいさな会社。お手伝いさせていただける農家さんの数は限られています。しかし、同じような取り組みが進み、日本全国で被災された農家さんを支え、日本の農業の未来を守ることに繋がっていくよう切望しています。

「被災農家さんの力になりたいが、どんなことができるのか…」「受け入れをしたいけど、何から始めればいいのか…」そんな農業関係の団体や自治体がありましたら、どうぞお声掛けください。わたしたちが試行錯誤しながら動いてみた成果をお伝えします。ともに進めていきましょう。

## さまざまな活動との連携

わたしたちがお手伝いしている「農地の移転」は、あくまでひとつの選択肢にすぎません。ハローファームプロジェクトは、圧倒的な悲劇に正面から向き合い、前に進んでゆこうとしている農家のみなさんと、さまざまな形でつながりを持ちたいと考えています。根っこにある「安心・安全でおいしい食べものをつくり続けてゆきたい、多くの人に届けたい」という思いは、共通しているはずだからです。

### ●●●自分たちの手で、もう一度きれいな土を～生木葉ファーム（福島県いわき市）●●●

いわき市にある生木葉（なまきば）ファームは、放射性物質が付着してしまった畑の表土をはぐ除染活動を、ボランティアの協力を得ながら自分たちの手で行いました。8月には、ハローファームプロジェクトスタッフもボランティアとしてこの「土とり」作業に参加しました。土のもつ養分が集中している表面をごっそり取り去ってしまう苦しい作業に挑みながらも、笑顔の絶えない明るい雰囲気、農家さんのたくましさを感じました。



▲「土とり」作業の様子



5月に始まった畑の除染作業は9月にひと段落しましたが、一度起こってしまった土壤の汚染を完全にゼロにすることは容易にはできません。今後も継続的な観察と対処、そして収穫した作物の検査が必要です。

今後も情報交換を続け、力強い取り組みを支えていけるような体制を継続してゆきます。

### ●●●安心・安全な「福島産」を発信したい～ふくしま希望市場（福島県岩瀬郡鏡石町）●●●

原発事故後に福島県内でつくられた農産物にも、地域によっては汚染がない、あるいはきわめて程度が軽いものもあります。大切なのはきちんと検査し、結果を正しく知らせることです。ふくしま希望市場は土壌検査に始まり4段階にわたる厳しい検査をクリアしたものだけを出荷しています。



同じ野菜の流通・販売に携わる立場として、妥協を許さない厳格な姿勢はおおいに参考にさせていただいています。

◀ 希望市場のみなさんをお招きしたイベント出店の様子（関西日仏学館の月例イベント“Le Marche”にて）



## 移転の拠点・ハローファームハウス（仮称）設立

### ●●●具体的な事例の必要性●●●

プロジェクトの青写真がどれほどしっかり描いてあっても、まったく新しい土地に移るといふ選択肢は農家さんにとってやはりハードルが高いもの——試行錯誤しながらプロジェクトを進めていく中であらためてそのことを痛感したわたしたちは、先行する具体的なモデルケースが必要であると考えようになりました。

そこで2011年秋、坂ノ途中の本拠である京都に、「ハローファームハウス」とでも呼ぶべき移転の拠点をつくることにしました。お家も畑もすぐに使っていただける状態で農家さんをお迎えできるようにしたのです。



▲ 外観。母屋・蔵・物置の3棟。



▲ 母屋の2階から、遠くに愛宕山を望む。していきます。

### ●●●地域とのつながりを大切にしてください●●●

農業は元来、地域社会に深く根ざしたものです。お家をお借りし、地域の中に住まわせていただく過程で、地域の方々にお世話になる機会も多いはず。今回ご縁をいただきお家をお借りした京都市右京区京北（けいほく）は、自然が豊かでありながら、市の中心部へのアクセスにもすぐれた地域です。移転された農家さんにも地域に貢献する方法を探ってもらいながら、ともに歩み、地域を発展させてゆく道を考え、実践にうつ

京北での拠点づくりにあたっては、地元出身の大家さんにご紹介いただき、財団法人きょうと京北ふるさと公社さんとつながりを持たせていただくことができました。空き農地の情報提供・地元農家組合の方々とのやりとり・地主さんとの契約へのプロセスをサポートいただいております。

## 地域間連帯の実現へ

### ●●●有限会社 漂流岡山 の取り組み●●●

岡山市に本拠地を置く 有限会社 漂流岡山 さんは、坂ノ途中と同じく地元産農産物の流通に携わる会社。福島県はじめ汚染の厳しい地域の桃・ぶどう農家さんの岡山県での受け入れを始めました。地域に根差した特性を活かしながら、日本全体の農と食のために貢献したいという思いは同じ。今後、情報発信や実際の移転受け入れにあたって協働体制をとっていきます。



<http://www.hyoryuu.co.jp/order/fukushima.html>

## ハローファームハウス、入居者募集中！

家も畑もあり、移転後すぐに生活と農作業を始められる「ハローファームハウス」。ただいま入居者を大募集中です。

- ・複数家族に入居していただき、共同で生活をつくりあげます。
- ・京都市右京区京北にあります。自然豊かながら京都市内からのアクセスもよい地域です。
- ・ハローファームハウスを拠点にした農地探し→独立！もバックアップします。
- ・出荷・流通・販売を坂ノ途中がサポートします。

## 関西への移転希望農家さん募集中！

関西に移転して無農薬・無化学肥料で農業を続けたい農家さんを引き続き募集しています。作りたい品目や農地の条件を調整し、住居等も含め、移転先を探すお手伝いをさせていただきます。まずは様子を見てみたい方のために、「関西農業事情視察ツアー」も企画いたします。

## 移転希望の農家さんの受け入れ先募集中！

汚染の厳しい地域から移転を希望される農家さんの受け入れ先も募集しています。空き農地や農業法人での就業など、情報をお寄せください。

## ハローファームプロジェクト、最新情報はこちら

Website: <http://on-the-slope.com/hellofarm/>

Twitter: [@hello\\_farm](https://twitter.com/hello_farm)

Blog: <http://hellofarm.wordpress.com/>

## お問い合わせ先

資料を送付してほしい、担当者と直接話がしたい…などのお問い合わせは、

〒601-8437 京都市南区西九条比永城町 118-2  
株式会社 坂ノ途中 ハローファームプロジェクト担当

e-mail: [hello-farm@on-the-slope.com](mailto:hello-farm@on-the-slope.com)

TEL: 075-200-9773 FAX: 075-200-9774

お気軽にお問い合わせください。一同、すこしでもお力になればと思っています。